

Singles

女子単打は、中国の劉詩雯と陳夢が決勝で対戦。前夜で打点の早いスタイルで決める前に、陳は強いドライブで中回戦をかけてタイミングをずらしミスをした。しかし劉はすぐに対応し、2ゲーム差とする。劉の覚悟を決めた。ベスト4には、丁寧、王曼昱が入り、表彰台は中国勢が独占した。

日本人選手は、平野美宇、加藤実偉がベスト8入りを見せた。



女子シングルス

劉詩雯(中国)

スピードや回転ハンド攻撃は今大会完璧なものであった。自国開催の選手権でついに奪冠

3位

丁寧(中国)
3連覇を狙い、原動力に勝つことも、前夜の早い攻撃に相手についてしまった



2位

王曼昱(中国)
中国の前星がついに世界選手権デビュー。自身全盛期の威力ある攻撃は存在感を示した



陳夢(中国)
回転量の多い両ハンド攻撃をコーナーに打ち分け、直線に打点を絡とした攻撃も上だった

Women's Best-8



杜凱琹(中国香港) 今大会はバックハンド攻撃のミスが多く、決点率も高かった。石川佳純に勝利するなど力を示した

孫穎莎(中国) 小柄ながらも全身を使った両ハンド攻撃で活躍。王に敗れるも、決勝の入りは好成績だった

加藤実偉(日本) 前夜の早いドライブを武器とし、勝ち上がるも、前夜のドライブに負けに負けてしまった

平野美宇(日本) 前夜の早いドライブを武器とし、勝ち上がるも、前夜のドライブに負けに負けてしまった

2019 世界卓球選手権 ブダペスト大会

2019年世界選手権ブダペスト大会が4月21~28日まで、ブダペスト(ハンガリー)で行われた。

男子単打は、原敬(中国)とマティアス・ファルク(スウェーデン)が対戦。原が自慢の強打と、ミスを繰り返すファルクを打ち破り、3位は決戦と緊張に陥った。原(中国)が入った。原とファルクは、原が自慢の強打と、ミスを繰り返すファルクを打ち破り、3位は決戦と緊張に陥った。原(中国)が入った。原とファルクは、原が自慢の強打と、ミスを繰り返すファルクを打ち破り、3位は決戦と緊張に陥った。

ファルク(スウェーデン)
ベンチには世界のレジェンド、ヨルダン・ペレグも入った



ファスティングボールの強さ、フォアハンドフットワークで早くスタイルとバックドライブのコンビネーションが上だった

陳夢(中国)
ガッツリとした身体を合わせたフォアハンド攻撃は威力十分。ラリー中に動く、任意タンク1本の消費量を下し勝ち上がった



加藤実偉(大韓民国)
今大会の自派の目立ち。原(中国香港)、原本(日本)を下し勝ち上がり、今大会最年少で決勝に進出した



男子シングルス

馬龍(中国)

速攻や変化が簡単に出来ることがあり、世界トップの仲間につけこまれる場面も多かったが、決め手する早い打点の両ハンドとコース取りのよさで勝利した



Men's Best-8



ゴースイ(フランス) 鋭い両ハンド攻撃を展開。原(中国)を下し、決勝に進出した

張禹珍(大韓民国) フォアハンドを使った攻撃で、ラリー中にミスが多かったが、原(中国)を下し、決勝に進出した

林高遠(中国) ミスの少ない早いドライブを武器とし、原(中国)を下し、決勝に進出した

丹羽孝希(日本) サーブからの攻撃、コースを崩すなど、原(中国)を下し、決勝に進出した